

2020・2021 年度大分大学医学部看護学科卒業時に 大分大学医学部附属病院看護部に 入職された皆様へ

～看護職キャリア開発支援プロジェクト：看護学科卒前技術学習会と看護部実地指導者
研修会の協働開催の調査データの使用のお願い～

【研究課題名】

COVID-19 禍中に共同開催した卒業前看護技術学習会の有効性の評価

【研究の対象】

この研究は以下の方を研究対象としています。

2021 年および 2022 年 4 月に大分大学医学部附属病院看護部に就職した 2020 年度・2021 年度大分大学医学部看護学科卒業生に対して卒業前技術学習会に関連して実施した評価データ

【研究の目的・方法について】

新型コロナウイルス感染症の拡大により、看護職を目指す学生への影響が懸念されています。講義・演習は、対面から遠隔授業への切り替わり、臨地実習は、その意義の重要性があるものの、延期や中止、学内実習への切り替えという状況が増えている状況です。これらは、時間的かつ学習内容的に教育の機会の不足を生んでいます。直接的に専門職として必要な知識、技術の習得の不足は、学生や新人看護師の自信に影響し、ひいては看護職の離職の原因となることも指摘されています。

禍中において卒業前学生は、職場適応への不安を抱き、一方、現場の新人教育担当の指導者たちは、コロナ禍で基礎教育を経験している新人看護師への適切な指導の在り方に危機感を持っていました。これらの状況に対し、日本看護協会は、国民の生命と健康を守る専門職として臨床の場に出る前に、必要十分な教育を受ける機会を確保し、教育の質を担保することで、現場の看護師教育への貢献を呼び掛けています。

そこで、本院看護師と本学教員が構成員である「大分大学医学部 看護職キャリア開発支援センター教育プログラム開発部門」が主導となり、コロナ禍基礎教育課程を修了直前の看護学生を対象に、看護基礎教育から卒後教育へのシームレスで実践的な卒業前看護技術学習が可能となるように、病院と大学共同で卒業前学習会を実施し、直後、3 か月後、6 か月後の継続評価を行い学習会の効果を考察しました。この評価のために、実施した調査の結果を本研究で使用します。

《研究の目的》

COVID-19 禍中に看護師と共同開催した卒業前看護技術学習会の有効性を明らかにします。

《使用させていただく情報について》

2020年度卒業生および2021年度卒業生のうち、卒業前の2021年3月、2022年3月に看護学科卒業前技術学習会を実施しました。その評価として「卒業前技術学習会」の事前、直後、就職時、就職後に、学習会の満足度、学習のニーズの充足度（看護技術への不安・緊張、仕事のやる気、職場適応・自己肯定感など）について、調査を実施しました。その際のデータを本研究へ二次利用します。皆様のレポート内容を利用させていただきますことは本学医学部倫理委員会において外部委員も交えて厳正に審査・承認され、大分大学医学部長の許可を得て実施しています。また情報については、国の定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従い、特定の個人を識別できないよう加工したうえで管理しますので、皆様のプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

【研究期間】（医学部長実施許可日） ～ 2023年6月1日

【使用させていただく情報の保存等について】

本研究で使用した情報は論文発表後10年間の保存を基本としており、保存期間終了後は、紙の資料はシュレッダーにて廃棄したり、パソコンなどに保存している電子データは復元できないように完全に削除します。

【外部への情報の提供について】

本研究で収集した情報を他の機関へ提供することはありません。

【研究対象者の費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、研究対象となる方の費用負担はありません。

【研究資金及び利益相反^{りえきそうはん}について】

この研究は、公的な資金である実践看護学講座成人看護学領域の基盤研究経費を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切用いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

【研究の参加等について】

本研究への協力をするかしないかは皆様ご自身の自由です。本研究にご自身の調査内容を利用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、研究対象から除外いたします。また、本研究への協力の有無や本研究の結果が、業務評価等に反映されるなど皆様へ不利益になることは一切ありません。なお、得られた研究結果は研究論文として公表することになりますが、目的外の利用は行いません。また、研究結果を公表する際は個人が特定されないようプライバシーに配慮して行います。しかしながら、発表後に参加拒否を表明

された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

研究への利用を拒否される場合、その他、本研究に関して質問等がありましたら、以下の連絡先までお申し出下さい。

【研究組織】

研究責任者

大分大学医学部 実践看護学講座 准教授 脇 幸子

研究分担者

大分大学医学部附属病院 看護部管理室 看護師長 油布 由美

大分大学医学部附属病院 看護部管理室 副師長 中野 智絵

大分大学医学部附属病院 看護部管理室 副師長 井田 久美

大分大学医学部附属病院 看護部管理室 副師長 塩崎 礼子

大分大学医学部附属病院 看護部管理室 看護部長 富永 志津代

大分大学医学部 基盤看護学講座 教授 原田 千鶴

【お問い合わせについて】

本研究に関するご質問等がありましたら研究責任者までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

《照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先》

住 所：〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

電 話：097-586-5052

研究責任者：大分大学医学部実践看護学講座 成人看護学
准教授 脇 幸子（わき さちこ）